

イソジョウカイモドキ

コウチュウ目ジョウカイモドキ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー 情報不足

Laius asahinai Nakane

選定理由

全国的に記録が少なく局所的な分布をしていて、環境省のレッドリスト（2007年）で情報不足とされた。県内では志賀町の海岸岩礁でこれまでに3個体が採集されているが、その他の地域における詳細な分布状況が不明である。

形態

体長約4.0mm。体色は全体が青藍色だが、触角の第1節と第2節のみ橙色。また、オスの触角第2節は腎臓型で大きく、中央部が深くくぼむ。

国内分布

本州、四国、九州に局所的に分布している。日本海側からの記録は少なく、新潟県と島根県から記録されているに過ぎない。

県内分布

志賀町の小さな海岸岩礁で2007年6月に1個体、2008年5月に2個体が採集されているが、その他の地域では未発見である。

生態

海岸岩礁に生息する潮間帯性の甲虫で、打ち上げられた海草類の下や岩のわずかな隙間に潜んでいる。他の微小な小動物を捕食していると思われる。

生息地の条件

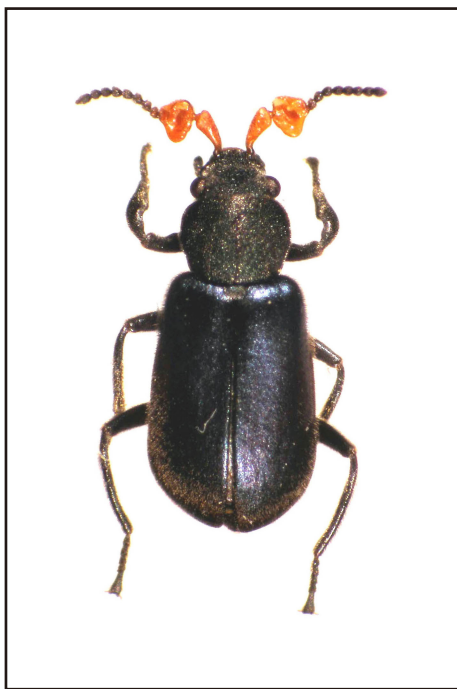
岩礁地帯であること。ただし、志賀町町では非常に規模の小さな岩礁で採集されており、生息に必要な岩礁の規模や条件は不明である。

生存の危機

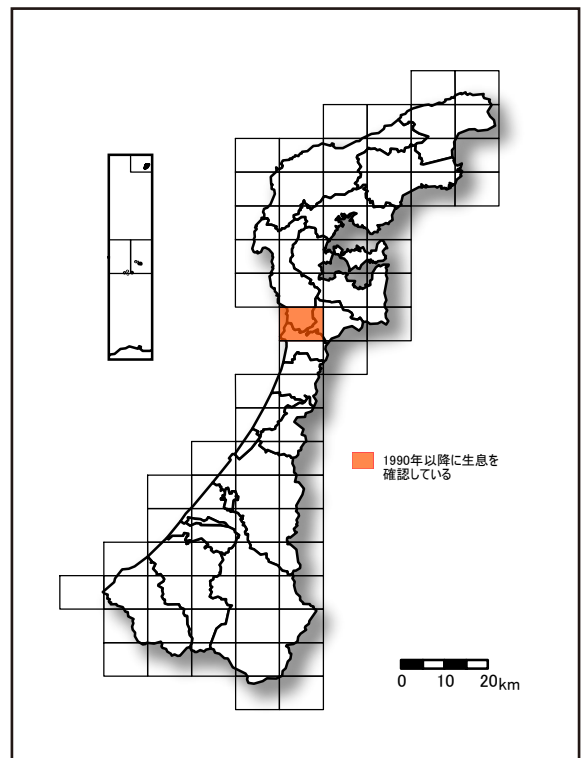
港湾整備や護岸事業などの各種開発に伴う岩礁地帯の縮小や消失は、本種の生存にとって大きな問題となる。

参考文献

河上康子・林 成多 2007. 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究(2)島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 37-76.



標本提供者: 吉道俊一



県内の分布